



作品風

設計監理 ■
地域生活空間研究所

施工 ■
建築：藤木工務店京都支店
電気：山科電気工事
設備：新下工業

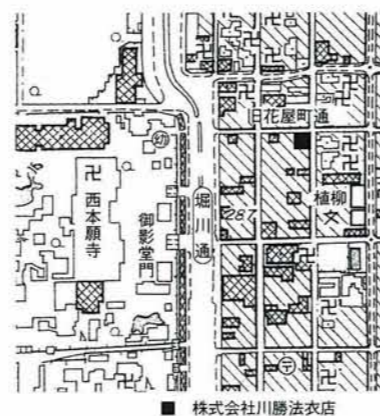
株式会社川勝法衣店 新社屋

計画建物は（西）本願寺の寺内町に位置し、京都市市街地景観整備条例における「本願寺・東寺界わい景観整備地区」内の町辻地区に指定されており、16世紀末に忽然と町化して以降、長い年月の中で培ってきた特色ある町並み景観を維持・整備する命題を負っている。設計者は、従前木造建築物の優れて歴史的な様式に驚き、保全されることを勧めたのであるが、阪神大震災における被害状況から、保全が困難であることを聞くこととなった。それではと、建物外観を記録させていただくことにしたのであるが、その作業中に全面建て替えの設計を依頼されることとなった。

新店舗は、町屋がもつ通り庭と当地区の特徴的な外観様式である「見世づくり」を継承している。店舗に一步足を踏み入れると、以前同様に24帖の店頭ステージがあり、その奥は事務スペースである。なじみのお客さまは以前からの見慣れた光景と同じで、ほっとされる方が多い。従前にもあった和室と庭は形や姿を変えて設けた。その際、和室は床脇のしつらえを再利用したし、庭も多くの石を再利用した。お客様は庭についての知識も豊富であることから、造園は店主の気合いとリードで完成したものである。

（上林研二／地域生活空間研究所）

※設計監理：上林研二・額田奈子 建築工事：櫻木稔彰・長内宏樹・中川 昇



旧店舗正面立面図

所在地 — 京都市下京区東中筋花屋町下ル柳町
敷地面積 — 470.91㎡
建築面積 — 375.52㎡
延床面積 — 949.61㎡
構造規模 — S造、3F
工期 — 2004年12月～2005年11月
最寄駅 — JR東海道線・京都駅
撮影 — 数近プロ（数近雄治）